

MITSUBISHI

sRGB

三菱データプロジェクター

形名

LVP-XD200

取扱説明書

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

DATA
PROJECTOR
LVP-XD200



このたびは三菱データプロジェクターをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

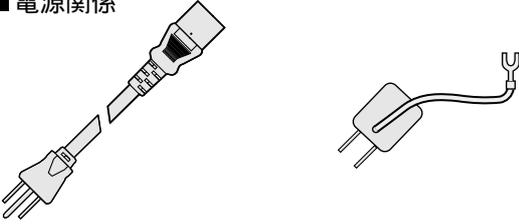
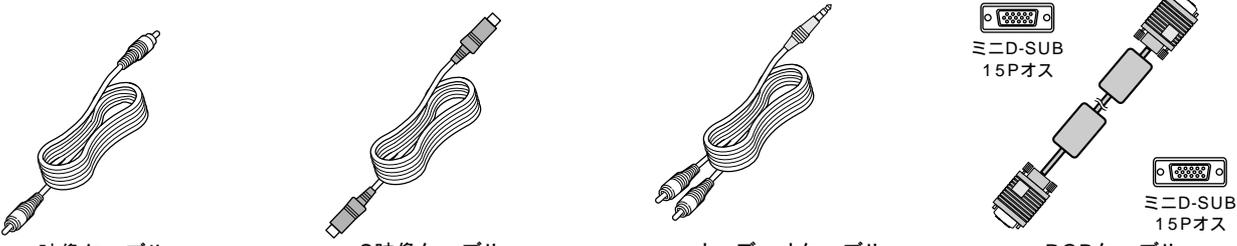
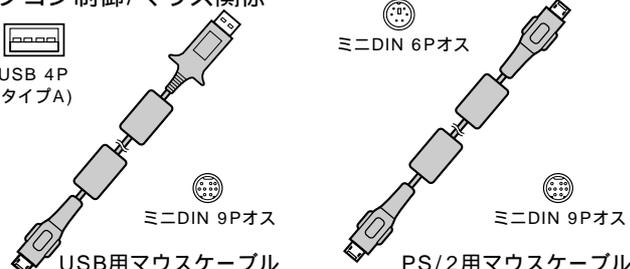
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

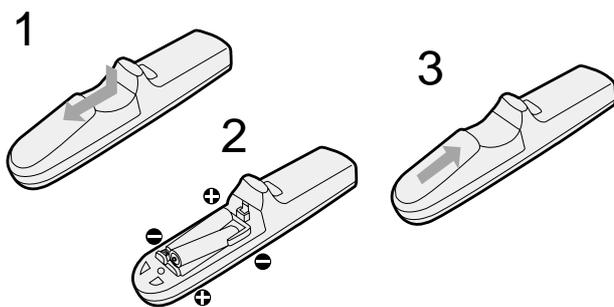
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

<p>■ 電源関係</p>  <p>電源ケーブル 変換アダプタ</p>	<p>■ リモコン関係</p>  <p>リモコン 単四乾電池(2本)</p>
<p>■ 映像(音声)関係</p>  <p>映像ケーブル S映像ケーブル オーディオケーブル RGBケーブル</p>	
<p>■ パソコン制御/マウス関係</p>  <p>USB 4P (タイプA) ミニDIN 9Pオス USB用マウスケーブル ミニDIN 6Pオス ミニDIN 9Pオス PS/2用マウスケーブル</p>	<p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズキャップ(本体に付属) ・取扱説明書 ・クイックリファレンスカード ・保証書 ・ソフトキャリングケース ・三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内 ・リモコン受光部 遮光シール

リモコンに乾電池を入れる



1 リモコン裏面のフタをはずす

2 乾電池の(+)(-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる

乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルパネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。

3 裏面のフタを付ける

乾電池は、単四乾電池(R03)を2本お使いください。
リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠ 注意

乾電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります。(乾電池に表示されている注意事項もお読みください。)

著作権について

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
DLP(Digital Light Processing)、DMD(Digital Micromirror Device)は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
DCDiは、Directional Correlational Deinterlacingの略で、Sage, Inc.の事業部門であるファローージャの商標です。
その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

はじめに	安全のために必ずお守りください 4 ~ 7
	各部のなまえ 8、9
	本体のなまえ 8、9
	リモコンのなまえ 9
	リモコンの使いかた 10
映像を見る	コンピュータの映像を見る 11 ~ 13
	A. コンピュータと接続する 11
	B. 電源コードを差込む 11
	C. 投写する 12、13
	プレゼンテーションを演出する 14 ~ 17
	1. リモコンをレーザーポインタとして使う 14
	2. リモコンをコンピュータのマウスとして使う(マウスリモコン) .. 14、15
	3. 映像と音声を一時的に消す(AVミュート) 15
	4. 画面を拡大して見る(EXPAND) 16
	5. コンピュータとビデオ映像を同時に見る(PinP) 17
	ビデオ機器の映像を見る 18、19
	A. ビデオ機器と接続する 18
	B. 電源コードを差込む 18
	C. 投写する 19
設定・調整する	メニューを使って設定する 20 ~ 22
	メニュー遷移図 20
	メニュー設定のしかた 20
	メニューで設定できること 21、22
	映像を調整する 23 ~ 25
	映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)..... 23
	元の色を忠実に再現する(sRGB)..... 23
	色ごとの色合いを調整する(カラーマトリクス)..... 23
	白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)..... 23
	色を調整する(色の濃さ、色合い)..... 24
	映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)..... 24
	コンピュータ映像の調整 24
その他	お掃除のしかた 25
	光源ランプを交換する 26、27
	故障かなと思ったら 28、29
	設置工事を依頼するときは 30
	インジケータの見かた 31
	索引 32
	仕様 33
	別売品 33
	端子について 33
	接続できる信号の種類 34
	保証とアフターサービス 35

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

もくじ
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください	 絶対に水にぬらさないでください
 絶対にぬれた手で触れないでください	 絶対に水場では使用しないでください	 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。



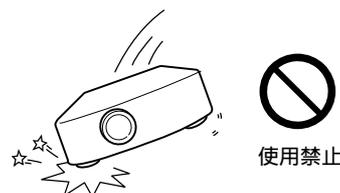
プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

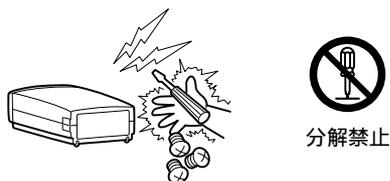
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

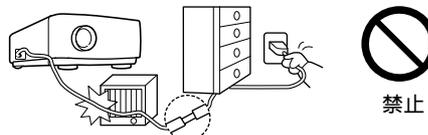
キャビネットをはずしたり、改造しない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

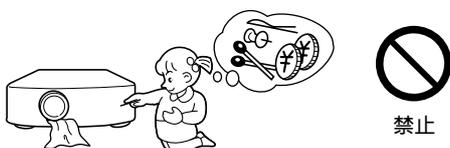
電源コードを傷つけない

重いものをのせない 引っ張らない ねじらない
無理に曲げない 加熱しない 加工しない
じゅうたんなどの下にひかない



コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない



金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

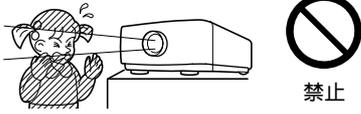


内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

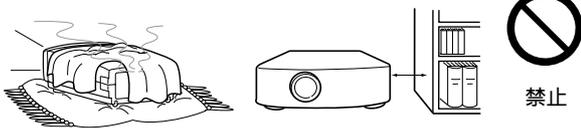
レーザー光をのぞかない



レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

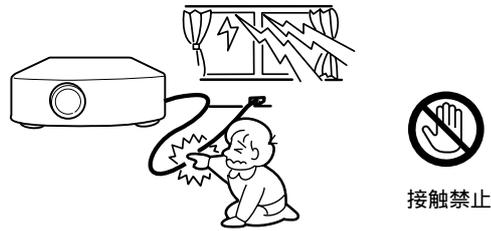
吸気口、排気口をふさがない

風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
 じゅうたんや布団の上に置かない
 テーブルクロスなどをかけない
 排気口付近に燃えやすい物を置かない



吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

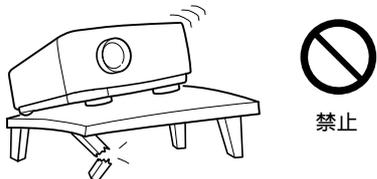
雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



感電の原因となります。

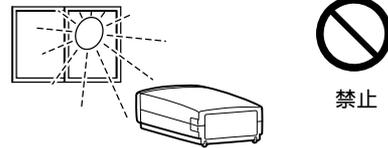
次のような場所に置かない

不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けない



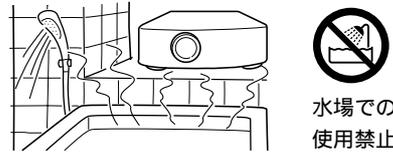
火災や故障の原因となります。

ソファ、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

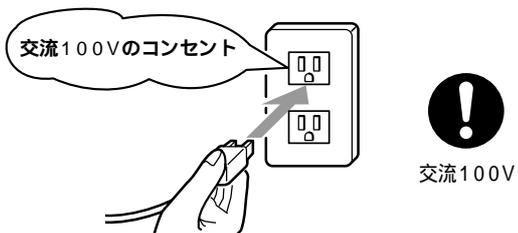
風呂場では使わない



火災や感電の原因となります。

正しい電源電圧で使う

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



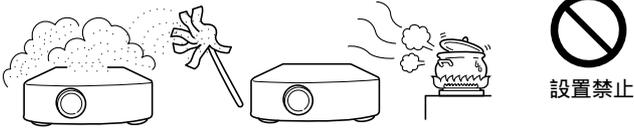
安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

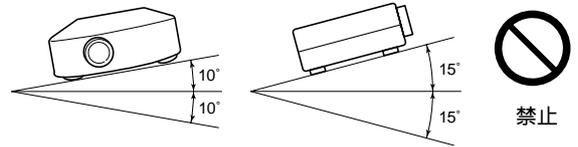
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所

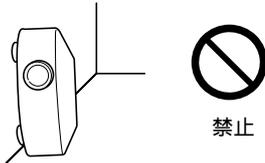


傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない



倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない



本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

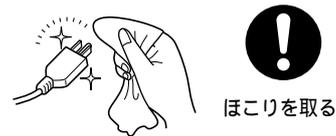
電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない



電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

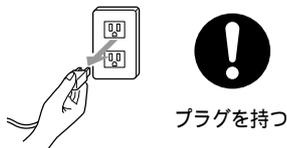
電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。

1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

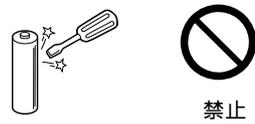
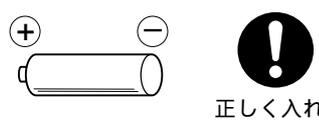
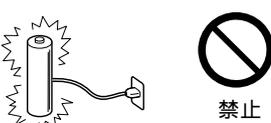
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



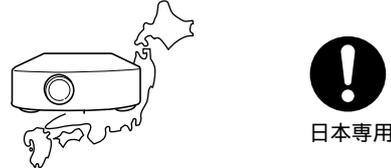
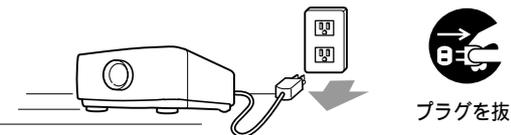
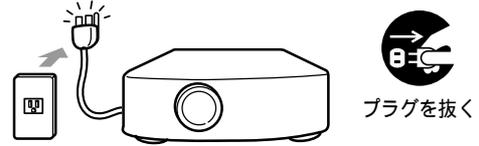
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

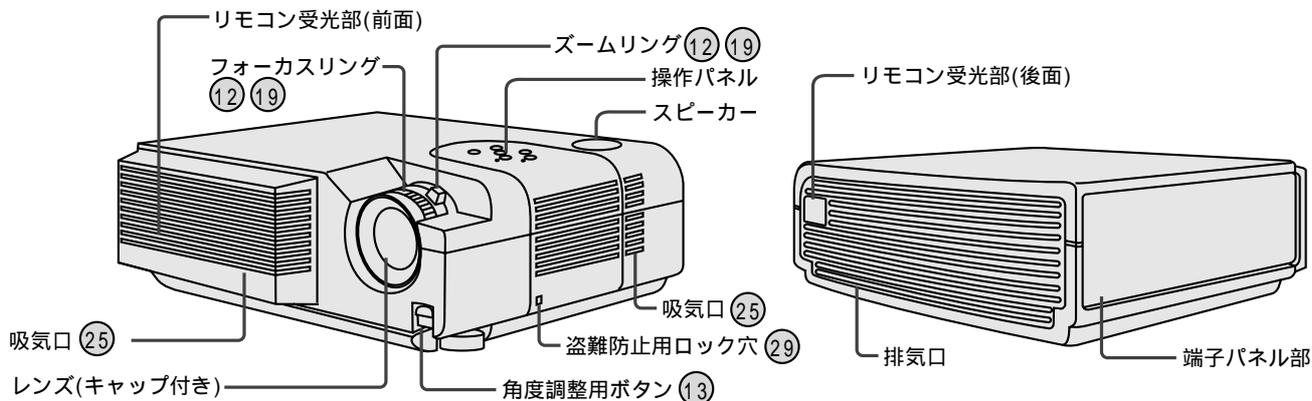
<p>新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。</p>  <p>禁止</p>	<p>分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。</p>  <p>禁止</p>	<p>乾電池は、(－)側から入れてください。乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。</p> <p>使いきった乾電池は、すぐに取り出す。乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流す。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。</p>
<p>プラス(＋)とマイナス(－)の向きを正しく入れる。</p>  <p>正しく入れる</p>	<p>乾電池を充電しない。充電式の電池は使用しない。</p>  <p>禁止</p>	

その他

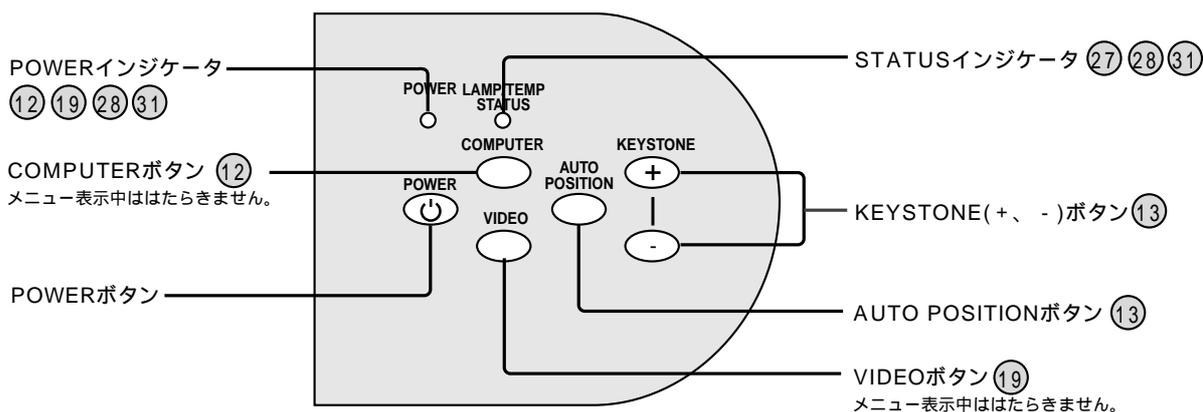
<p>1年に一度は内部の掃除を依頼する</p>  <p>内部掃除</p> <p>三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</p>	<p>このデータプロジェクターは日本国内専用です</p>  <p>日本専用</p> <p>電源電圧の異なる海外では使用できません。 This Data projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.</p>
<p>ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>POWERボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。約2分間待ったあと、主電源スイッチを切り、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイにして約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。</p>	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>
<p>製品使用中は排気口をのぞき込まない</p>  <p>禁止</p> <p>排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。</p>	<p>排気口、底板は熱くなりますので触れないこと</p>  <p>接触禁止</p> <p>やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。</p>

各部のなまえ

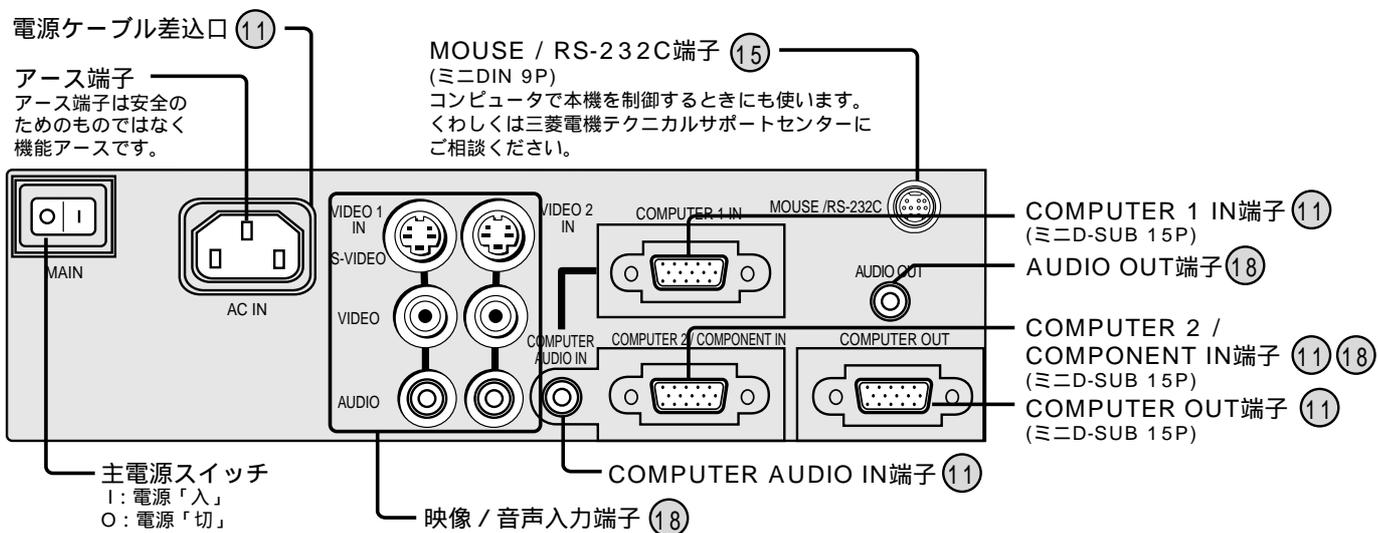
本体のなまえ (○は参照ページです。)



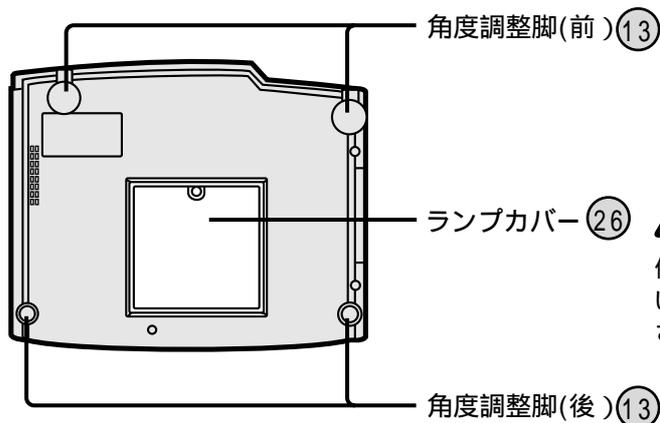
操作パネル部(天面)



端子パネル部(右側面)



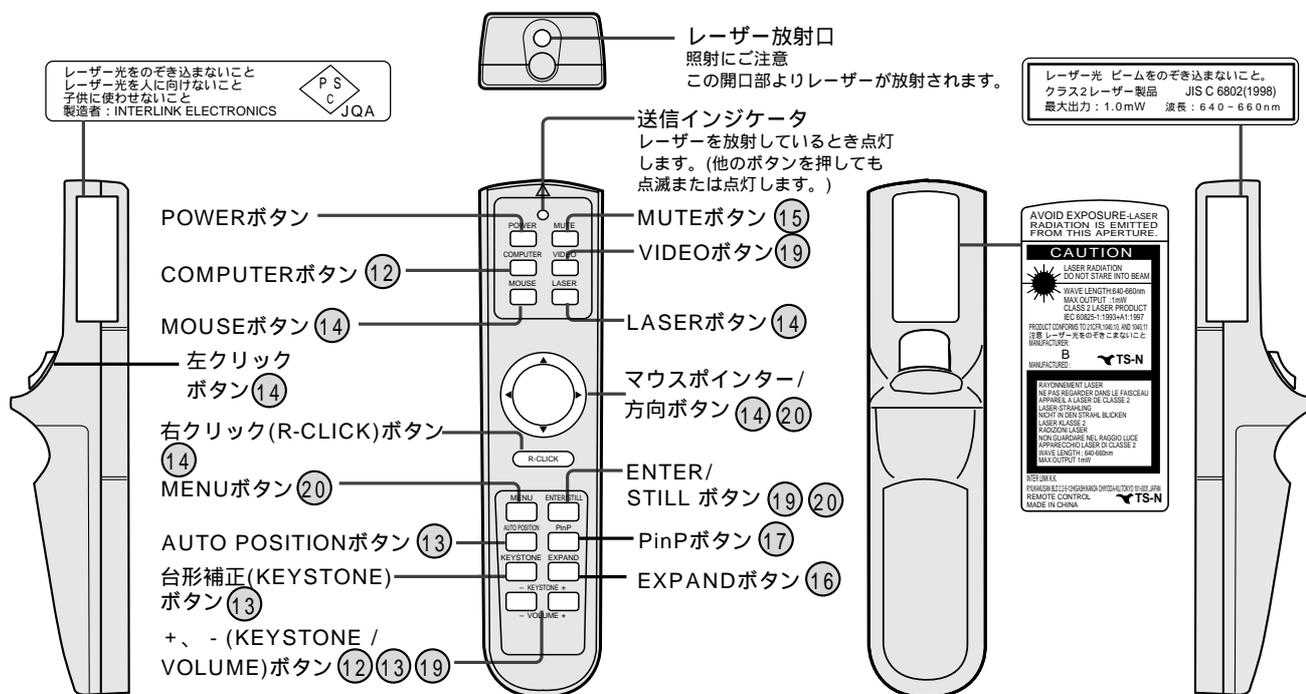
底面部



注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

リモコンのなまえ (○は参照ページです。)



MOUSEボタンを押すとMOUSEボタンが点灯し、方向ボタンがマウスポインターとしてはたらきます。MOUSEボタンまたはMENUボタンを押すと元にもどります。(方向ボタンとしてはたらきます。)

警告

付属のリモコンは、LASERボタンを押すとレーザー光を發します。

以下の事項を必ずお守りください。

- レーザー光をのぞき込まないこと。
- レーザー光を人に向けないこと。
- 子供に使わせないこと。

レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

ご使用になる前にリモコンの注意表示をよくお読みになり、必ずお守りください。

レーザー光について

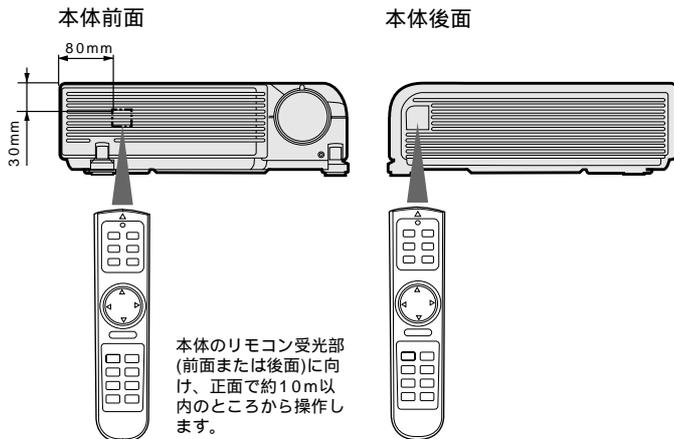
このリモコンはクラス2(最大出力:1.0mW、レーザー光の波長:640~660nm)レーザー製品です。

ビームの広がり:6mの位置で10.0mm x 10.0mm(±6mm)。

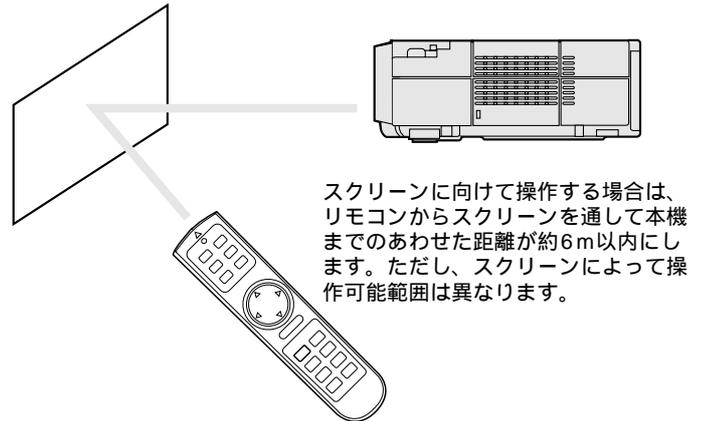
ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

リモコンの使いかた

ワイヤレスリモコンとして使う

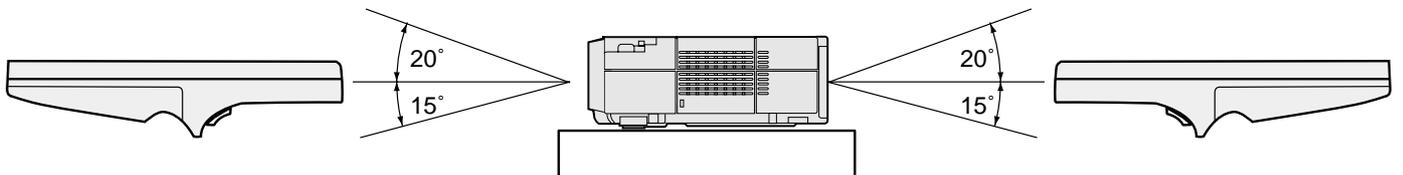


リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなる場合があります。この場合、蛍光灯に近い方の受光部に添付の遮光シールを貼ってください。

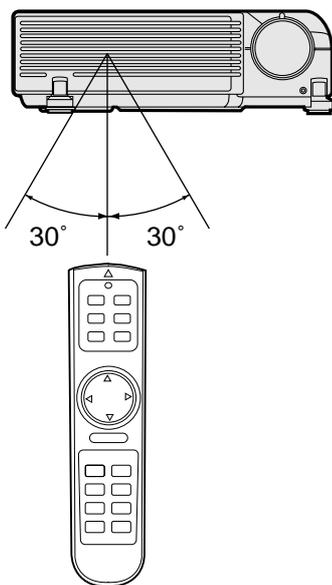


操作範囲

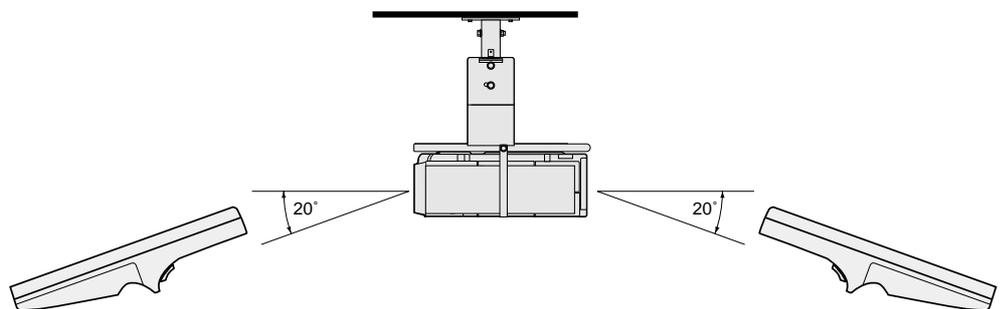
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)

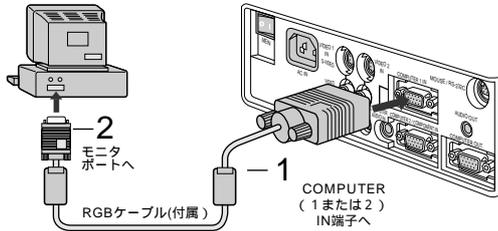


コンピュータの映像を見る

A. コンピュータと接続する

準備

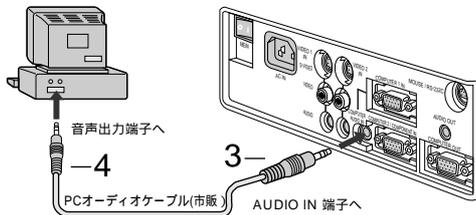
プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGBケーブルをはずす



1. 付属のRGBケーブルを本機のCOMPUTER (1または2) IN端子に接続する
2. コンピュータのモニタポートにRGBケーブルのもう一方を接続する
接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。

付属のRGBケーブル以外の長いケーブルを使用すると画質劣化することがあります。本機はDDC機能により、COMPUTER 1 IN端子に接続されたコンピュータに最適な映像が投写されます。ただし、Windows®95以前のシステムを搭載しているコンピュータの場合、DDCドライバをインストールする必要があります。DDCドライバは、インターネットホームページ(<http://www.melco.co.jp/service/projector/>)よりダウンロードしてください。

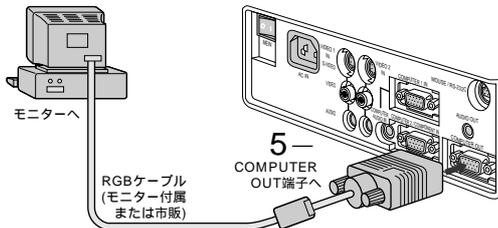
コンピュータの音声をプロジェクタから出すときは



3. PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する
4. PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する
COMPUTER 1、2のAUDIO IN端子は共通です。

本機のAUDIO IN端子は、ステレオミニジャックです。(ただし、スピーカ出力はモノラルになります。)接続するコンピュータの音声出力端子の形状にあわせてケーブルをお買い求めください。

プロジェクタの投写映像をモニタで見るときは(デスクトップのみ)

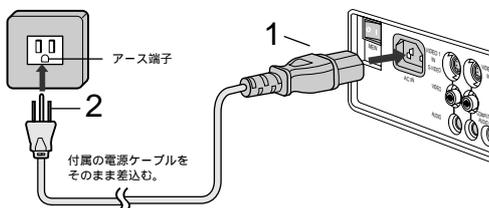


5. モニタに接続されているRGBケーブルを本機のCOMPUTER OUT端子に接続する
接続するケーブルによっては、画質劣化することがあります。

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

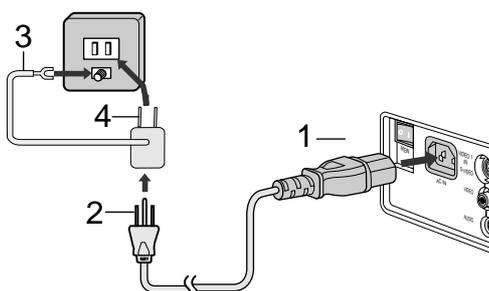
B. 電源コードを差込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



1. 付属の電源ケーブルを本機の電源ケーブル差込口に接続する
2. 電源ケーブルのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



1. 付属の電源ケーブルを本機の電源ケーブル差込口に接続する
2. 電源ケーブルのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける
3. 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する
電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください。(有料)
4. 変換アダプタを電源コンセントに差し込む

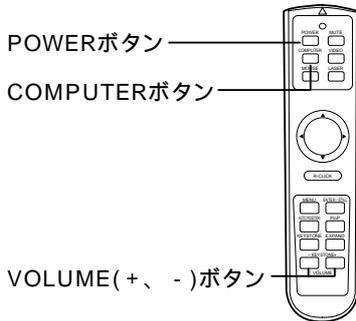
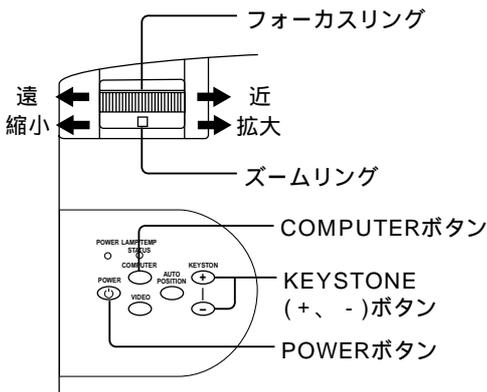
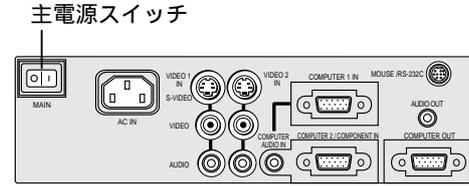
本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

コンピュータの映像を見る(つづき)

C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる



電源を入れる

1. 主電源スイッチを入れる

主電源スイッチを入れると、POWERインジケータが赤色に点灯します。



2. POWERボタンを押す



電源の「入」「切」の操作はできません。

光源ランプが点灯しないときは、1分以上待ってからもう一度POWERボタンを押してください。

POWERボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

入力を切替える

3. COMPUTERボタンを押す

画面右上にモード表示「COMPUTER 1」が表示されます。

COMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER 1」「COMPUTER 2」「COMPUTER 1」と切り替わります。

ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは次のページをご覧ください。画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきを無くしてください。

設置する

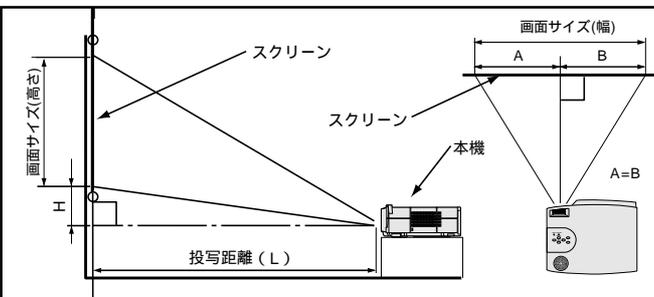
4. プロジェクターとスクリーンが垂直になる様に設置する
プロジェクターとスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。(次ページ参照)
5. ズームリングを右(拡大)方向に回して投写画面を最大の大きさにする
6. スクリーンいっぱいに投写画面が表示される様に投写距離を調整する
本機からスクリーンまでの距離によって画面のサイズを変えることができます。下の表を目安にして設置してください。

ピントを調整する

7. フォーカスリングを回してピントを調整する

音量を調整する

8. リモコンのVOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する
メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

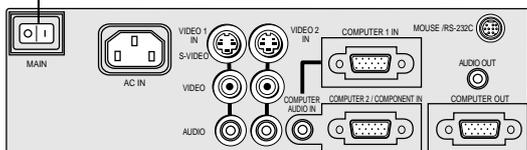


設置する場所については、あらかじめ4~7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは30ページをご覧ください。

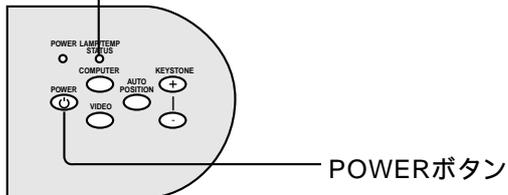
画面サイズ(型)	画面サイズ		投写距離(L)		高さ(H)(cm)
	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	
40	81	61	1.3	1.6	8.7
60	122	91	2.0	2.4	13.1
80	163	122	2.6	3.2	17.4
100	203	152	3.3	4.0	21.8
150	305	229	4.9	6.0	32.7
200	406	305	6.6	8.1	43.5
250	508	381	8.2	10.1	54.4
300	610	457	9.9	12.1	65.3

表示値は、実際とは数%誤差が生じることがあります。

主電源スイッチ

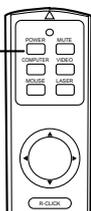


STATUSインジケータ



POWERボタン

POWERボタン



電源を切る

9. POWERボタンを押す

「電源オフ時は再度パワーボタンを押してください」のメッセージが表示されます。

10. POWERボタンを10秒以内にもういちど押す

10秒以内にPOWERボタンを押さないとメッセージは消えます。光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。

11. STATUSインジケータが消えるまで、約2分間そのまま待つ

スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。

STATUSインジケータが点滅中は主電源スイッチを切らないでください。使用後すぐに主電源スイッチを切ると故障の原因となることがあります。

12. 主電源スイッチを切る

POWERインジケータが消灯します。

安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズ保護のためレンズキャップをしてください。

AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
3. AUTO POSITIONボタンを押す。

入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(24ページ参照。)

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

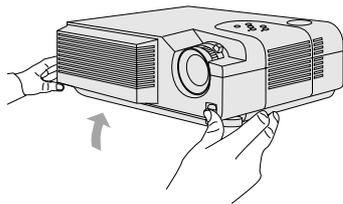
外部出力させる操作の例

「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す

投写角度を調整する

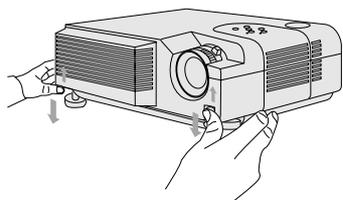
投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するかまたは投写角度を以下のようにして調整してください。

1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる

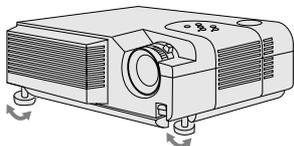


2 左右の角度調整用ボタンを押す

3 角度調整用ボタンおよび本体から手を離す

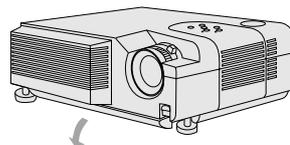


4 角度調整脚(前)を左右に回して画面が平行になるように微調整する



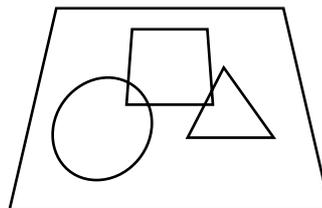
収納するときは

- 5 本体を手で支えながら左右の角度調整用ボタンを押してゆっくり本体を降ろす



投写角度は、角度調整脚(後)を左右に回して調整することもできます。

画面が台形に歪むときは



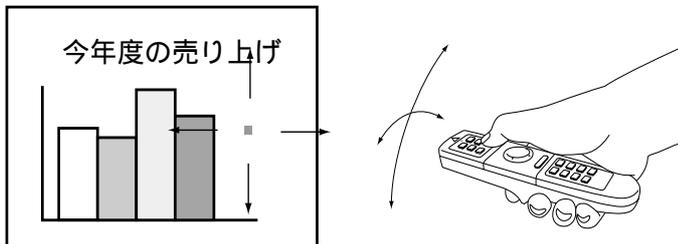
スクリーンと本機が直角になっていないと、画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても直角にならないときは本体のKEYSTONE +、- ボタンを押して、画面の上下の幅をそろえて下さい。リモコンの場合は、KEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、+、- ボタンを押して、調整します。

プレゼンテーションを演出する

プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

1 .リモコンをレーザーポインタとして使う

注目させるポイントを赤い点で指し示すことができます。



警告

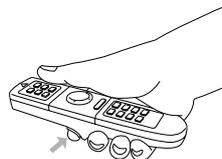
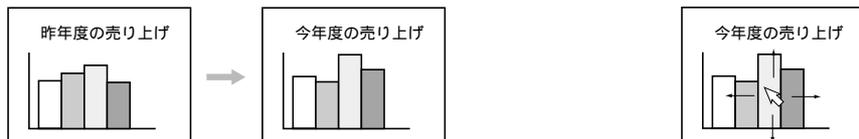
レーザー光を直接のぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けないでください。レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

リモコンのLASERボタンを押している間、レーザー光を発します。

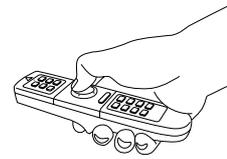
レーザー光は、1分間照射すると自動的に発光を停止します。もういちど照射する場合は、LASERボタンを一度離してから、もういちど押してください。

2 .リモコンをコンピュータのマウスとして使う(マウスリモコン)

本機のリモコンでコンピュータの操作が行えるので、たとえば、プレゼンソフトのページをめくったり、コンピュータ画面のカーソルを動かすことができます。

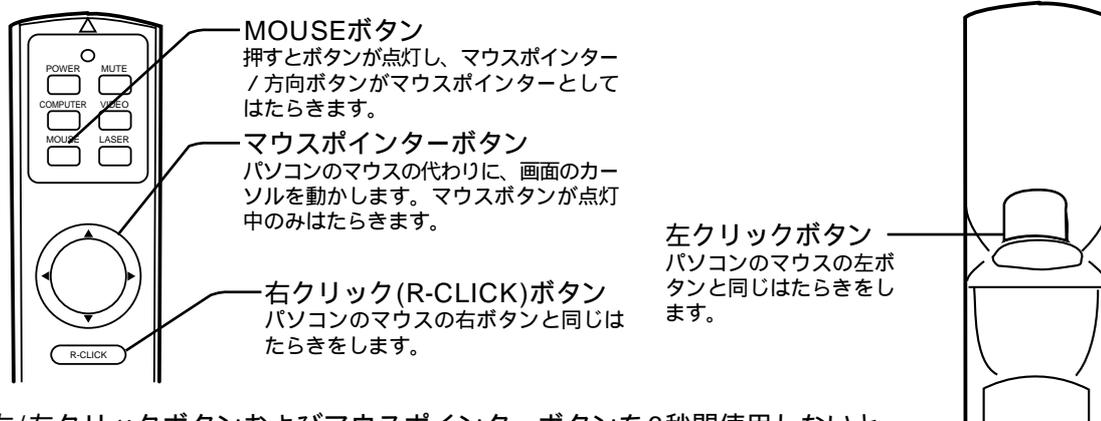


左クリックボタンを押して次の画面に切り換えます。



マウスポインターボタンを押してカーソルを動かします。

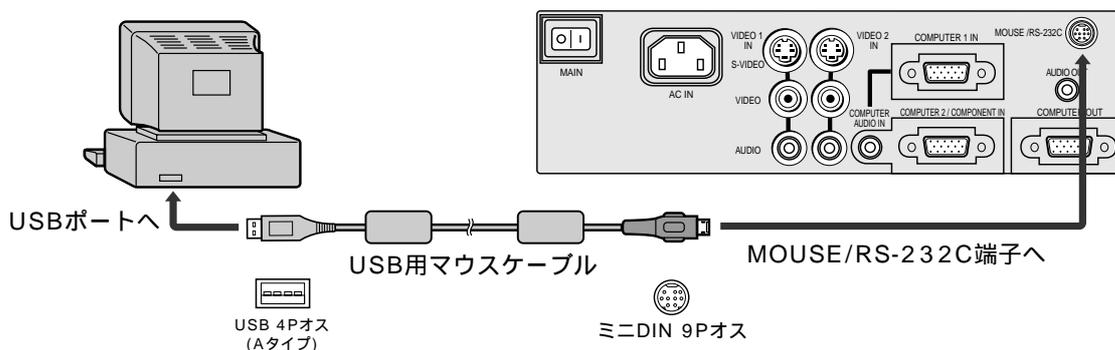
マウスとして使用するボタン



右/左クリックボタンおよびマウスポインターボタンを6秒間使用しないと、自動的に通常モードにもどります。

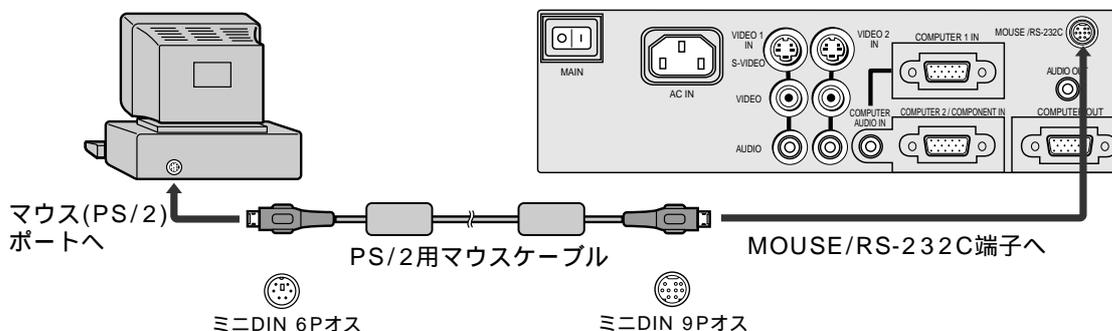
本機のリモコンでコンピュータの操作を行うために、以下の接続をします。

USBポート付き機種との接続



USB接続してマウス操作できるのはUSBを標準でサポートしているパソコンのみです。
USBケーブルは本機の光源ランプが点灯してから接続して下さい。

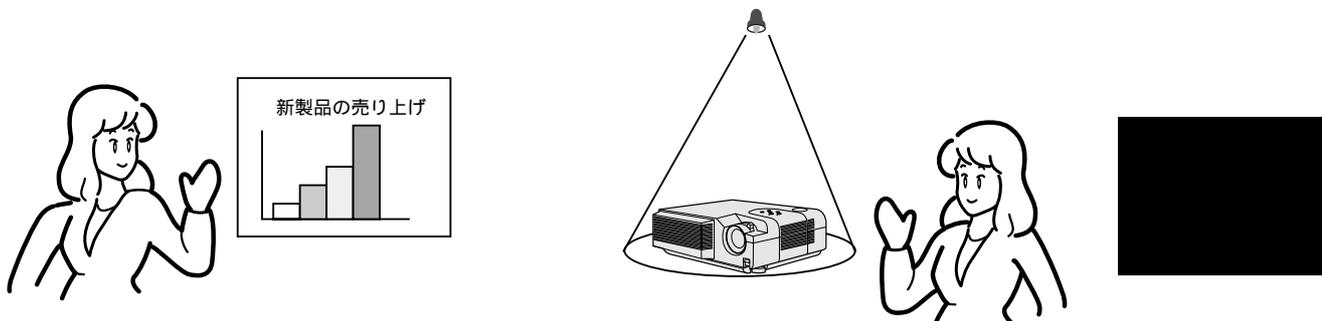
マウス(PS/2)ポート付き機種との接続



PS/2ポートへの接続は、コンピュータと本機の電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入った状態で接続してもマウスとしてはたらかない場合があります。そのときは、もう一度コンピュータを立ち上げなおしてください。ケーブルを延長して使用したときは、正しくはたらかないことがあります。

3 映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



新製品の売り上げは、このグラフの通りです。

これが、その新製品です。

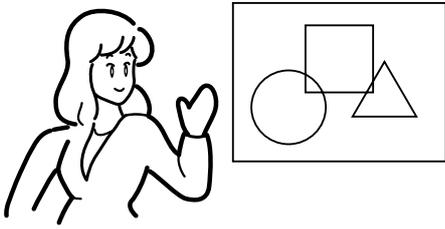
操作のしかた

1. リモコンのMUTEボタンを押す
映像が真っ暗になり、音声が消えます。
もういちどMUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。

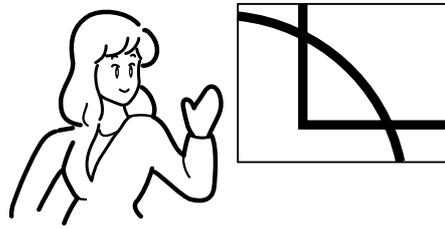
プレゼンテーションを演出する(つづき)

4. 画面を拡大して見る(EXPAND)

本機は画面拡大機能により、画面の一部を拡大して見ることができます。



この丸と四角の交点にご注目ください。



少しわかりにくいので拡大してみます。

表示のしかた

リモコンのEXPANDボタンを押す
画面拡大表示になります。

もういちどEXPANDボタンを押すと、通常画面にもどります。

拡大率を変更するときは

+ または - ボタンを押す

+ ボタンを押すと拡大率が大きく、- ボタンを押すと小さくなります。

+、- ボタンを押しても拡大率が変わらないときは、リアル表示になっている可能性があります。そのときは、MENUボタンを押して、拡大モードの設定を拡大にしてください。リアル表示については、34ページをご覧ください。

拡大させる範囲を変更するときは

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す

画面拡大表示中は、音量調整はできません。

画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。

画面拡大表示はCOMPUTER IN端子からの映像を表示している時のみはたります。VIDEO INまたはS-VIDEO IN端子からの映像を表示しているときははたしません。

入力信号によっては、EXPANDがはたらない場合があります。

設定のしかた

1. オプションメニューを表示させる
メニュー設定のしかたは、20ページをご覧ください。
2. ▲、▼ボタンを押して、「拡大モード」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して、「拡大」を選ぶ

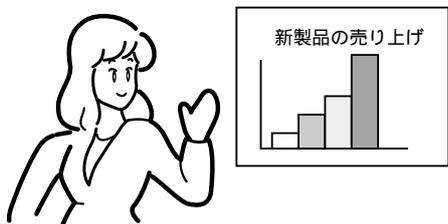


メニューを消すときは

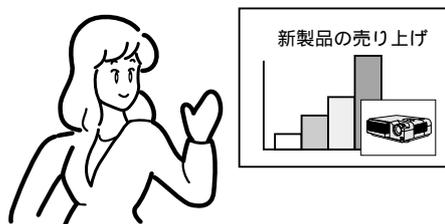
4. MENUボタンを2回押す

5. コンピュータとビデオ映像を同時に見る(PinP)

異なる入力の映像を同時に見ることができます。



売り上げは、この様に順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

リモコンのPinPボタンを押す

コンピュータ入力(COMPUTER IN)端子からの映像を表示しているときのみはたります。このとき、ビデオ入力(VIDEO INまたはS-VIDEO IN)端子からの映像が子画面として表示されます。もういちどPinPボタンを押すと、通常画面にもどります。

PinP中の入力切替について

PinP中にCOMPUTERボタンを押すと、PinPを解除し、入力切替えを行います。

PinP中にVIDEOボタンを押すと、子画面の入力切替えを行います。

子画面の表示位置を変更するときは

◀または▶ボタンを押す

PinPモード中の音声は、親画面の音声が出力されます。

PinPモード中は、メニュー画面での信号設定はできません。

PinPモード中、親画面の入力が無信号になった場合PinPは解除されます。

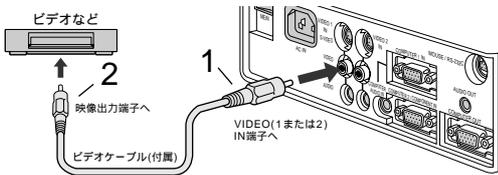
親画面の入力信号によっては、PinPがはたらない場合があります。

ビデオ機器の映像を見る

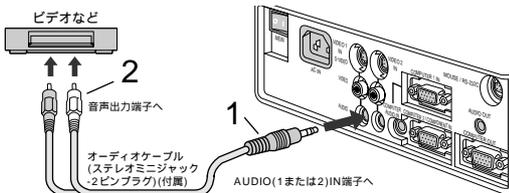
A. ビデオ機器と接続する

準備

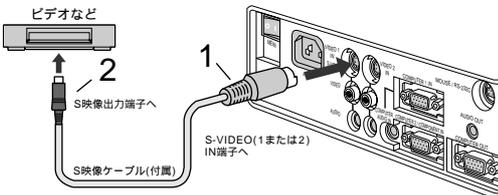
プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



1. 付属のビデオケーブルの黄色のプラグを本機のVIDEO IN端子に接続する
2. ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
3. 付属のオーディオケーブル(ステレオミニジャック-2ピンプラグ)のプラグを本機のAUDIO IN端子に接続する
4. ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルの2ピン側の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する



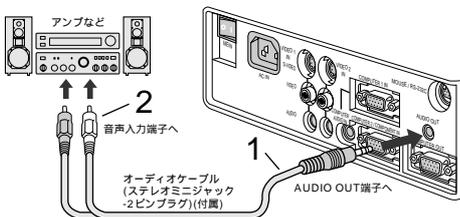
ビデオ機器にS映像出力端子がある場合は、上記の1、2の接続の代わりに以下の接続を行います。



1. 付属のS映像ケーブルを本機のS-VIDEO IN端子に接続する
2. ビデオ機器のS映像出力端子にS映像ケーブルのもう一方を接続する
S-VIDEO IN端子とVIDEO IN端子の両方に接続した場合、S-VIDEO IN端子の映像が出力されます。

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

外部スピーカからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



1. 付属のオーディオケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する
2. 外部スピーカと接続されたアンプの音声入力端子にオーディオケーブルの2ピン側の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

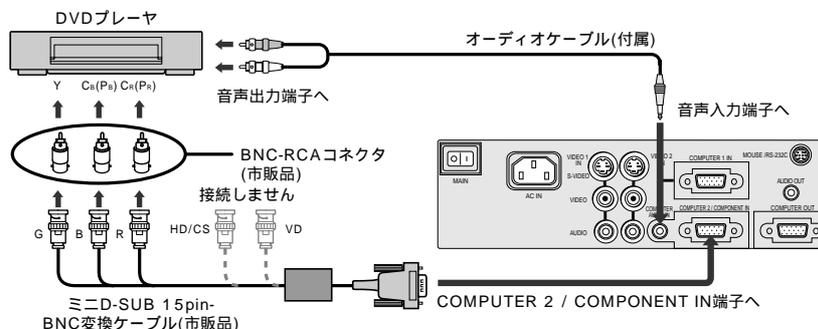
AUDIO OUT端子にジャックを接続すると本体スピーカの音声は消えます。
選択している入力音声が出力されます。
MUTEボタンを押すと音声が消えます。
VOLUME +、- ボタンを押すと音量が変わります。

B. 電源コードを差込む

「コンピュータと接続する」と同じです。11ページをご覧ください。

DVDプレーヤと接続する

コンポーネントビデオ出力端子(525i(480i))を持つDVDプレーヤと本機を接続するときは、COMPUTER 2 / COMPONENT IN端子に接続します。



COMPUTER 1 IN端子に接続した場合、映像が正しく表示されない場合があります。

接続はミニD-SUB 15pin-BNC変換ケーブルをお使いください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。

DVDプレーヤによっては映像が正しく投写できない場合があります。

DVDプレーヤなどで525p信号を入力するときは、COMPUTER入力の設定を「YCbCr/YPrPb」にしてください。

TV60、TV50信号は、色差信号のみ対応しています。5線式RGB信号は正常に表示できません。

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

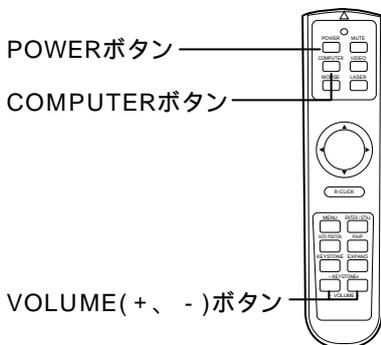
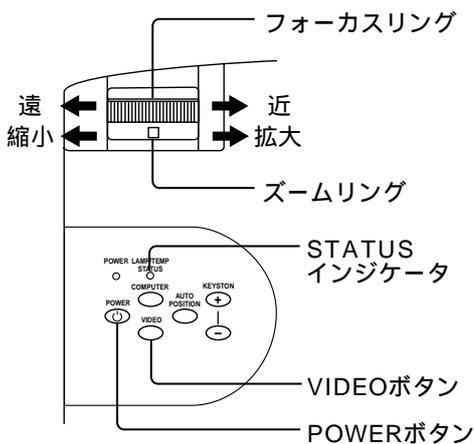
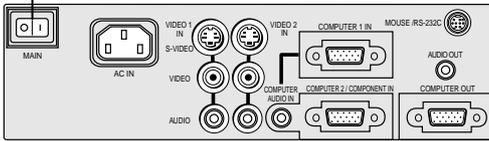
C. 投写する

準備

レンズキャップをはずす

接続しているビデオ機器の電源を入れる

主電源スイッチ



静止画について

リモコンのENTER/STILLボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もういちど押すと通常画面にもどります。

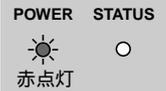
音声は通常通り聞こえます。

静止画中にENTER/STILLボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります。(一部、もどらないボタンもあります。)

電源を入れる

1. 主電源スイッチを入れる

主電源スイッチを入れると、POWERインジケータが赤色に点灯します。



2. POWERボタンを押す



電源の「入」「切」の操作はできません。

光源ランプが点灯しないときは、1分以上待ってからもう一度POWERボタンを押してください。

POWERボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

入力を切換える

3. VIDEOボタンを押す

VIDEOボタンを押すごとに「VIDEO 1」「VIDEO 2」「VIDEO 1」と切換わります。

COMPUTER IN端子を使ってDVDプレーヤなどと接続しているときはCOMPUTERボタンを押します。

設置する

4. プロジェクターとスクリーンが垂直になる様に設置する

プロジェクターとスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。(13ページ参照)

5. ズームリングを右(拡大)方向に回して投写画面を最大の大きさにする

6. スクリーンいっぱいに投写画面が表示される様に投写距離を調整する

本機からスクリーンまでの距離によって画面のサイズを変えることができます。12ページの表を目安にして設置してください。

ピントを調整する

7. フォーカスリングを回してピントを調整する

音量を調整する

8. VOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する

電源を切る

9. POWERボタンを押す

「電源オフ時は再度パワーボタンを押してください」のメッセージが表示されます。この状態を解除するには、POWERボタン以外のボタンを押してください。

10. POWERボタンを10秒以内にもういちど押す

10秒以内にPOWERボタンを押さないと、メッセージは消えます。

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。

11. STATUSインジケータが消えるまで、約2分間そのまま待つ

スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。

STATUSインジケータが点滅中は主電源スイッチを切らないでください。使用後すぐに主電源スイッチを切るため故障の原因となることがあります。

12. 主電源スイッチを切る

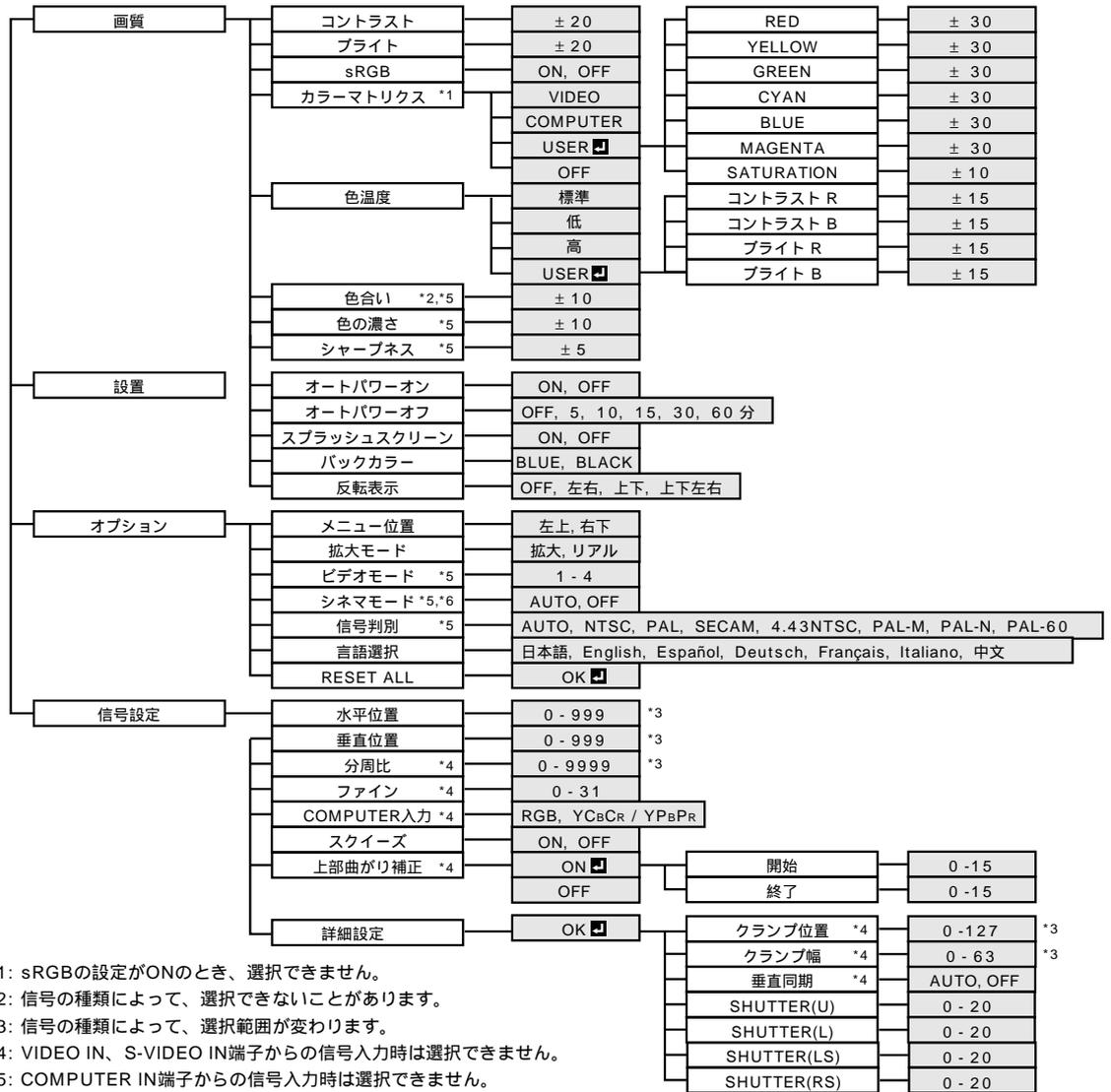
POWERインジケータが消灯します。

安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズ保護のためレンズキャップをしてください。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図



- *1: sRGBの設定がONのとき、選択できません。
- *2: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
- *3: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
- *4: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
- *5: COMPUTER IN端子からの信号入力時は選択できません。
- *6: ビデオモードの設定が1以外のときは選択できません。

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1. MENUボタンを押す

メニュー選択バーが表示されます。



2. ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ



3. ENTERボタン(または▼ボタン)を押す
希望のメニューが表示されます。



4. ▲、▼ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



5. ◀、▶ボタンを押して設定する



メニューを消すときは

6. MENUボタンを数回押す

ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度主電源を切り、約10分程待った後もう一度主電源を入れ、パワーオンしてください。

信号メニューおよび詳細設定メニューの調整は、必ず外部からの入力信号が入力されている状態で行ってください。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

TV60	
画質	
コントラスト	0
ブライト	0
sRGB	OFF
カラーマトリクス	OFF
色温度	標準
色合い	0
色の濃さ	0
シャープネス	0

設定項目	設定	はたらき
コントラスト	20 ~ +20	映像のコントラストを調整します。(23ページ参照)
ブライト	20 ~ +20	映像の明るさを調整します。(23ページ参照)
sRGB	ON、OFF	ONにすると色再現性を重視した画像になります。(23ページ参照)
カラーマトリクス	COMPUTER、VIDEO、USER	あらかじめ設定された映像の色ごとの色合いを選択します。
	OFF	映像の色ごとの色合いをUSER調整します。(23ページ参照)
	OFF	カラーマトリクスは、はたらきません。
色温度	標準、高、低、USER	映像の色温度を調整します。(23ページ参照)
色合い	-10 ~ +10	映像の色合いを調整します。(24ページ参照)
色の濃さ	-10 ~ +10	映像の色の濃さを調整します。(24ページ参照)
シャープネス	-5 ~ +5	映像の鮮鋭度を調整します。(24ページ参照)

COMPUTER IN端子からの信号入力時は色合い、色の濃さおよびシャープネスは選択できません。
TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。

設置メニュー

TV60	
設置	
オートパワーオン	OFF
オートパワーオフ	OFF
スプラッシュスクリーン	ON
バックカラー	BLUE
反転表示	OFF

設定項目	設定	はたらき
オートパワーオン	OFF、ON	通常はこれを選びます。 ON-----主電源を入れたとき、自動的に電源が入ります。天井などに固定して、主電源スイッチが操作できないときに設定します。
オートパワーオフ	OFF、5、10、15、30、60分	オートパワーオフは、はたらきません。 映像信号が未入力するとき設定した時間になると自動的に電源が切れます。
スプラッシュスクリーン	ON、OFF	電源を入れたときスプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します OFF-----スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
反転表示	OFF、左右、上下、上下左右	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。 左右-----床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。 上下-----天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。 上下左右-----天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。

オプションメニュー

TV60	
オプション	
メニュー位置	左上
拡大モード	拡大
ビデオモード	1
シネマモード	AUTO
信号判別	AUTO
言語選択	日本語
RESET ALL	OK

設定項目	設定	はたらき
メニュー位置	左上、右下	メニューの表示位置を切替えます。
拡大モード	拡大/リアル	画面拡大のモードを選択します。(16ページ参照)
ビデオモード	1、2、3、4	高画質ラインダブラーモード1(クロスカラーサブレスジョン) 高画質ラインダブラーモード2(DCDi) 高画質ラインダブラーモード3 スルーモード
シネマモード	AUTO、OFF	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。 OFF-----フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します。(通常はAUTOに設定します。)
言語選択	7言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL		ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします。(言語選択を除く。)

ビデオモードの設定を「1」にしているとき、映像によっては、ブロック状のノイズが出ることがありますが、故障ではありません。気になるときは、ビデオモードの設定を「1」以外にしてください。信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。

古いビデオテープの再生信号など、品質の悪い信号を入力した場合、正常に投写出来ないことがあります。そのときは、ビデオモードの設定を切替えて確認してください。

言語選択の設定を「日本語」以外にすると、色合いが変化しますが、故障ではありません。

メニューを使って設定する(つづき)

信号設定メニュー(外部信号が入力されていないと調整はできません。)



設定項目	設定	はたらき
水平位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を上下に動かします。
分周比	0 ~ 9999 *	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
ファイン	0 ~ 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YCbCr/YPbPr	Y,Cb,Crコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤまたはY,Pb,Prコンポーネントビデオ出力端子を持つMUSEデコーダなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤなどで525p信号を入力するときは、こちらに合わせます。
スクイーズ	OFF	通常はこちらに合わせます。
	ON	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときにこの位置に合わせます。
上部曲がり補正	ON <input checked="" type="checkbox"/>	画面に上部曲がりがおこったときに調整します。ON <input checked="" type="checkbox"/> を選んでからENTERボタンを押すと設定メニューが表示されます。(24ページ参照)
詳細設定 <input checked="" type="checkbox"/>		ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。

詳細設定メニュー(外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。)



設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	0 ~ 127 *	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	0 ~ 63 *	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
SHUTTER(U)	0 ~ 20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 ~ 20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 ~ 20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 ~ 20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

*マークのある項目は他の設定および信号の種類によって設定範囲が変化します。

映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)

2. ▲、▼ボタンを押す
「コントラスト」または「ブライト」を選びます。

☾ コントラスト	◀ 0 ▶
☀ ブライト	◀ 0 ▶

3. ◀、▶ボタンを押して調整する
コントラスト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりします。
ブライト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

元の色を忠実に再現する(sRGB)

インターネットの映像など、元の画像にできるだけ忠実な色を再現したいときに設定します。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)

2. ▲、▼ボタンを押して「sRGB」を選ぶ

3. ◀、▶ボタンを押して「ON」を選ぶ

sRGB	◀ OFF ▶
------	---------

sRGBについて

米マイクロソフト社が推奨する次世代色空間の国際規格。より忠実な色再現が可能になります。

「sRGB」の設定を「ON」にすると、カラーマトリクスの調整は出来ません。

「sRGB」の設定を「ON」にすると、映像が多少、暗くなります。

「sRGB」の設定を「ON」にしているとき、「色温度」の設定を「標準」以外にすると、規格値とは異なる設定になります。

VIDEO INまたはS-VIDEO IN端子からの信号入力時にも「sRGB」の設定を「ON」にすることはできますが、規格値とは一致していません。お好みに合わせて使用してください。

色ごとの色合いを調整する(カラーマトリクス)

本機ではカラーマトリクス調整を行うことにより、RGBおよびその中間色であるイエロー、シアン、マゼンタの各色ごとに色合いを独立に調整することができます。ある特定の色のみを強調したいときや、ある特定の色の色合いのみがずれている場合は、カラーマトリクスのUSER調整を行ってください。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)

2. ▲、▼ボタンを押してカラーマトリクスを選ぶ

3. ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ

4. ENTERボタンを押す

5. ▲、▼ボタンを押して設定したい色を選ぶ
全体の色の彩度を設定したいときは、「SATURATION」を選びます。

6. ◀、▶ボタンを押して設定する

7. 5、6の操作を繰り返して設定する

カラーマトリクス	
▲ RED	◀ 0 ▶
▲ YELOLOW	◀ 0 ▶
▲ GREEN	◀ 0 ▶
▲ CYAN	◀ 0 ▶
▲ BLUE	◀ 0 ▶
▲ MAGENTA	◀ 0 ▶
▲ SATURATION	◀ 0 ▶

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)

2. ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選びます。

3. ◀、▶ボタンを押して「USER」を選びます。

4. ENTERボタンを押す
色温度の詳細メニューが表示されます。

5. ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選びます。

6. ◀、▶ボタンを押して設定する

7. 5、6の操作を繰り返して設定する

色温度-USER	
☾ コントラスト R	◀ 0 ▶
☾ コントラスト B	◀ 0 ▶
☀ ブライト R	◀ 0 ▶
☀ ブライト B	◀ 0 ▶

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

色温度を高くするには コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。

色温度を低くするには コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

映像を調整する(つづき)

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。



1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押す
「色の濃さ」または「色合い」を選びます。
3. ◀、▶ボタンを押して調整する
色の濃さ ▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。
色合い ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

「色合い」、「色の濃さ」はビデオ入力時のみ表示されます。
「色合い」は、NTSC、4.43NTSC信号の入力時のみはたります。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の尖鋭度に関する調整をします。



1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは20ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して調整する

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(13ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容を記録させておくこともできます。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- 投写画面が左右にずれる 信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- 投写画面が上下にずれる 信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- 投写画面がちらつく
幅広のしま模様が出る 信号設定メニューの分周比を調整します。
投写画面がぼける 信号設定メニューのファインを調整します。
- 画面に上部曲がりがおこる 信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。ENTERボタンを押してから、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- 画面が白く(または黒く)つぶれる 信号設定メニューの詳細メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- 映像の動きが不自然 信号設定メニューの中の詳細メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
- 画面の左右にノイズなどが出る 信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- 画面の上下にノイズなどが出る 信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。

信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

1. 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
2. 1の操作を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

3. 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

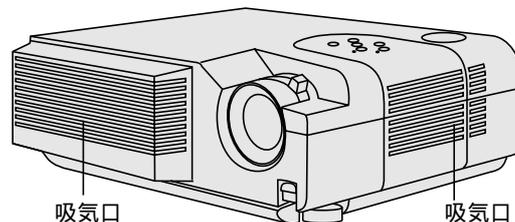
お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

排気口のほこりを取る

吸気口のお手入れはこまめにおこなってください(1か月に一度程度)。吸気口にほこりがたまると本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたりなどして、故障の原因となることがあります。

本体内部の温度が異常に高くなると、STATUSインジケータが赤色で点滅し、光源ランプが消灯します。



吸気口の掃除のしかた

掃除機などでほこりを吸い取る。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品(ブローワーブラシなど)でほこりや汚れを取る

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

光源ランプを交換する

本機には、映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早目に新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売のLVP-XD200専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-XD200用光源ランプ 型名:VLT-XD200LP

警告

光源ランプを交換する前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。主電源スイッチを切らずに交換を行うと感電の原因となることがあります。

光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。

取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがの恐れがあります。

注意

本機は光源ランプの使用時間が1000時間を越えるとSTATUSインジケータが点滅し、1400時間を越えるとパワーオンするたびに画面上に1分間「LAMP!!」のメッセージが表示されます。また、光源ランプの使用時間が1500時間を越えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので手でさわらないでください。手でさわるとやけどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約2分間お待ちください。そして主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって十分に冷えてから交換をはじめてください。

光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。

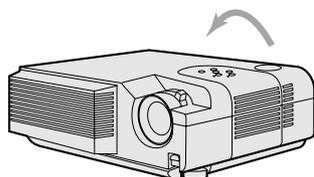
本機的光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの高圧水銀ランプで大きな差があります。従いまして、使用開始後まもない場合でも破裂することがあります。

交換時期を越えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でもすみやかに新しい光源ランプと交換してください。

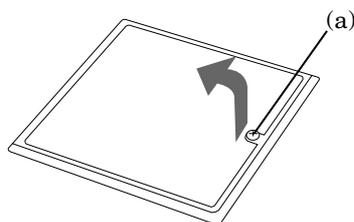
高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが排気口から出たりすることがあります。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。

高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、必ず本体をうらがえしにし、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。

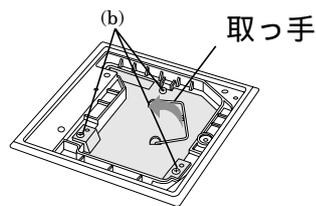
ランプ交換のしかた



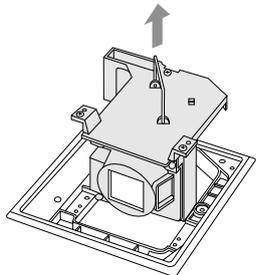
1 本体をうらがえす



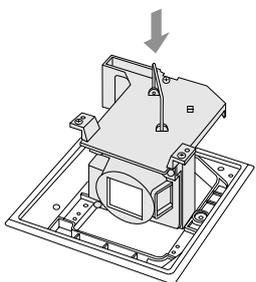
2 ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してゆるめ、ランプカバーを本体から取外す



3 光源ランプの固定ネジ(b)をプラスドライバーで回してゆるめる



4 取っ手を引きあげる



5 取っ手を持って、光源ランプを本体から抜き出す

光源ランプを本体から抜き出す際は、ゆっくりとおこなってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散る恐れがあります。

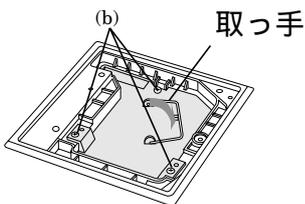
取出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや、燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

6 新しい光源ランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせてランプを奥にあたるまで差し込む

7 取っ手を収納部に押し込む

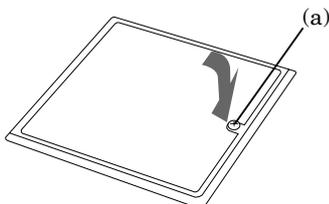
取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

8 固定ネジ(b)をプラスドライバーで回してしっかりと締める



9 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してしっかりと締める

ランプカバーが外れているとPOWERインジケータが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

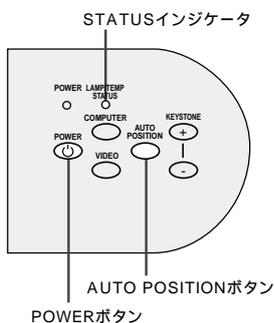


ランプ使用時間のリセットのしかた

10 主電源スイッチを入れる

11 本体コントロールパネルのAUTO POSITIONボタンおよびPOWERボタンを同時に3秒以上押す

2つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。STATUSインジケータが2回点滅し、リセットされたことをご確認ください。ランプ使用時間が1500時間を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。光源ランプを交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

現象	確認/処置																											
電源が入らない	<p>インジケータの光りかたを確認する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>STATUS</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td>電源ケーブルを本機に接続する。 電源プラグをコンセントに接続する。 主電源スイッチを「入」にする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 消灯</td> <td>吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. POWERボタンを押す。</td> </tr> <tr> <td>☀ 赤点灯</td> <td>○☀ オレンジ点滅</td> <td>吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 吸気口が汚れているか確認する。 吸気口の手入れをする。(25ページ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○☀ 緑点滅</td> <td>STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、POWERボタンを押す。 ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 数回POWERボタンを押す。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>☀ 赤点灯</td> <td>光源ランプを交換する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 消灯</td> <td>裏面のランプカバーを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>☀☀ 赤/緑点滅</td> <td>電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>☀ 点灯 または ○☀ 点滅</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	POWER	STATUS	処置	○ 消灯	○ 消灯	電源ケーブルを本機に接続する。 電源プラグをコンセントに接続する。 主電源スイッチを「入」にする。		○ 消灯	吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. POWERボタンを押す。	☀ 赤点灯	○☀ オレンジ点滅	吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 吸気口が汚れているか確認する。 吸気口の手入れをする。(25ページ)		○☀ 緑点滅	STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、POWERボタンを押す。 ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 数回POWERボタンを押す。		☀ 赤点灯	光源ランプを交換する。		○ 消灯	裏面のランプカバーを取り付ける。		☀☀ 赤/緑点滅	電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。		☀ 点灯 または ○☀ 点滅	
POWER	STATUS	処置																										
○ 消灯	○ 消灯	電源ケーブルを本機に接続する。 電源プラグをコンセントに接続する。 主電源スイッチを「入」にする。																										
	○ 消灯	吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. POWERボタンを押す。																										
☀ 赤点灯	○☀ オレンジ点滅	吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 吸気口が汚れているか確認する。 吸気口の手入れをする。(25ページ)																										
	○☀ 緑点滅	STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、POWERボタンを押す。 ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 数回POWERボタンを押す。																										
	☀ 赤点灯	光源ランプを交換する。																										
	○ 消灯	裏面のランプカバーを取り付ける。																										
	☀☀ 赤/緑点滅	電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。																										
	☀ 点灯 または ○☀ 点滅																											
映像が映らない	MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。																											
映像が突然消える	<p>吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。 (このときSTATUSインジケータは緑点滅しています。)</p> <p>吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。(STATUSインジケータが消灯するまで待つ。) 2. 主電源スイッチを切る。 3. 約10分ほど待つ。 4. 主電源スイッチを入れる。 5. POWERボタンを押す。 <p>STATUSインジケータが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。</p>																											

映像が映らない (つづき)

現象	確認/処置
「入力信号がありません」が表示される	接続した機器の電源を入れる。 外部機器の信号が出力されているか確認する。 (特にノートタイプのコンピュータの場合) 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がひずむ	本機と投写面が直角になるように調整する。
映像が暗い	画質メニューのブライトの調整をする。 ランプを交換する。
映像がぼやける	フォーカスを合わせる。 レンズキャップがついていないか確認する。 レンズをきれいに拭く。 リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする。 本機と投写面が直角になるように調整する。
映像(および音声)が乱れる	外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 妨害電波を発信している機器から遠ざける。
色合いがおかしい	信号設定メニューのCOMPUTER入力が正しく設定されているか確認する。

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることはありますが故障ではありません。
メニュー設定ができない	ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 POWER OFFして、2分後に再度POWER ONする。 POWER OFFできない場合は、主電源を落とし、10分以上放置してから、再度POWER ONしてください。
画面上に「TEMP!!」が表示(点滅)される	周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 周辺温度が高くなる原因を取り除く。 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。

その他

故障かなと思ったら

こんな機能もあります

盗難防止用ロックについて

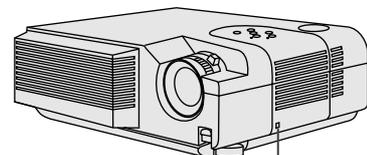
盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。

日本ポラデジタル株式会社

104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

TEL : 03-3537-1070

FAX : 03-3537-1071



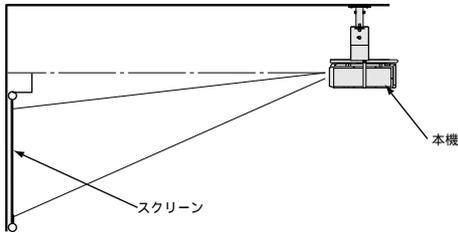
盗難防止用ロック穴

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具(33ページ参照)を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

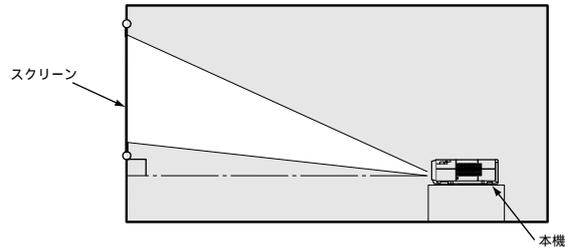


天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは21ページをご覧ください。ブレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカなどで主電源を落としておいてください。

天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

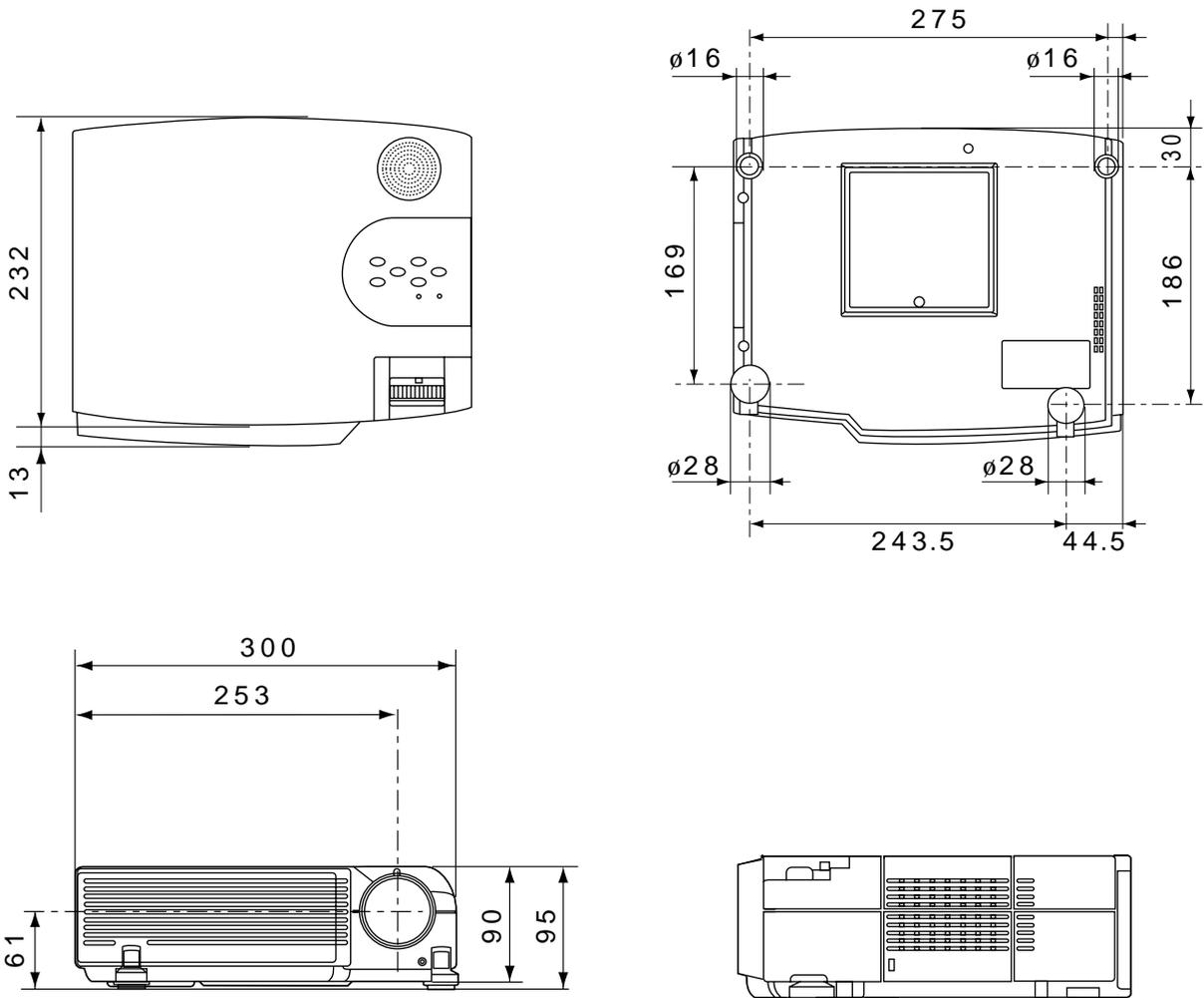
設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは21ページをご覧ください。

寸法図(参考)

単位はmm



インジケータの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが2つあります。インジケータの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
 赤点灯	 消灯	電源スタンバイ状態	
 緑点灯	 緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	 緑点灯	電源「入」(通常時)	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
 緑点灯 または  赤点灯	 オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。 ・吸気口が汚れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。 ・吸気口の手入れをする。
 赤点灯	 緑点滅	ランプをクーリングしている または ランプが異常	<ul style="list-style-type: none"> ・SATATUSインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプの購入については、販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
 緑点灯	 赤/緑点滅	ランプ交換表示(通算約1000時間使用・電源が「入」のとき)	光源ランプを交換してください。光源ランプの購入については、販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
 赤点灯	 赤点滅	ランプ交換表示(通算約1000時間使用・電源が「切」のとき)	
	 赤点灯	ランプ交換表示(通算約1500時間使用)	
 赤/緑点滅	 消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる
	 点灯 または  点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

その他

インジケータの見方
設置工事を依頼するときは

索引

ア行

アフターサービス	35
色合い	21、24
色温度	21、23
色の濃さ	21、24
オートパワーオフ	21
オートパワーオン	21
オプションメニュー	21

カ行

角度調整用ボタン	13
画質メニュー	21
画面拡大	16
カラーマトリクス	21、23
クランプ位置	22、24
クランプ幅	22、24
言語選択	21
コントラスト	21、23
コンピュータとの接続	11
コンピュータとの接続 (マウスリモコン) ..	15

サ行

上部曲がり補正	22、24
シネマモード	21
シャープネス	21、24
仕様	34
詳細設定メニュー	22
信号設定メニュー	22
信号判別	21
スクイーズ	22
接続	
コンピュータ	11
コンピュータ (マウスリモコン)	15
ビデオ機器	18
DVD プレーヤー	18
MUSE デコーダ	18
接続できる信号の種類	34
設置メニュー	21

タ行

台形補正	13
電池の入れかた	2
投写位置	12
投写角度の調整	13

ハ行

バックカラー	21
反転表示	21
ビデオ機器との接続	18
ビデオモード	21
ピントの調整	12、19
フォーカス調整	12、19
付属品	2
ブライト	21、23
分周比	22、24
別売品	34

マ行

マウスリモコン	14
ミュートボタン	15
メニュー位置	21
メニュー設定のしかた	20

ラ行

ランプカバー	26
ランプの交換	26
リモコン受光部	10

A

AUTO POSITION ボタン	13
-------------------------	----

C

COMPUTER IN 端子	11、18
COMPUTER OUT 端子	11
COMPUTER ボタン	12

D

DVD プレーヤーとの接続	18
---------------------	----

E

ENTER ボタン	20
EXPAND ボタン	16

M

MENU ボタン	20
----------------	----

P

PinP	17
POWER インジケータ	12、19、28、31

R

RS-232C 端子	15
------------------	----

S

SHUTTER(L)	22、24
SHUTTER(LS)	22、24
SHUTTER(RS)	22、24
SHUTTER(U)	22、24
sRGB	21、23
STATUS インジケータ	
.....	13、19、26、27、28、31
S-VIDEO IN 端子	18

V

VIDEO ボタン	19
VOLUME ボタン	12、19

仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

種類	DLP™ データプロジェクター
形名	LVP-XD200
投写方式	DLP(単板DMD™)方式
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	280W
解像度	1,024×768 (水平500TV本)
最大表示色	1,677万色(フルカラー表示)
投写レンズ	F2.5 ~ 3.0 f = 23.2mm ~ 28.4mm
光源ランプ	210W NSHランプ
投写画面	画面寸法 81 cm×61 cm ~ 610 cm×457 cm (4:3)
PC映像入力信号	解像度 640×400 ~ 1024×768 + 1280×1024 (圧縮)
ビデオ映像入力信号	NTSC / 4.43NTSC / PAL / SECAM / PAL-N / PAL-M / PAL-60自動判別
音声出力	2 W モノラル
スピーカ	丸形(8 2W)1個
S映像入力	輝度信号 Vp-p=1.0 V 75 (同期負極性) クロマ信号 Vp-p=0.286 V 75 (バースト信号)
映像入力	Vp-p=1.0 V 75 (同期負極性)
音声入力	350mVrms 10 k 以上
アナログRGB入力 (ミニD-SUB15P)	RGB:Vp-p=0.7 V 75、GonSync: 1.0 V 75 (同期負極性) YCbCr:Vp-p=1.0 V (Y) Vp-p=0.7 V (Cb, Cr) (同期負極性) HD/CS:TTLレベル(負または正極性) VD:TTLレベル(負または正極性)
制御端子	シリアル(ミニDIN 9ピン(メス)端子): RS-232C規格 1系統
最大外形寸法	30.0 cm × 9.0 cm × 24.5 cm (幅×高さ×奥行き)脚部除く
質量	約3 kg
電源ケーブル	2.9 m
動作温度	+5 ~ +35
動作湿度	30% ~ 90% (結露は除く)

「高調波ガイドライン適合品」

別売品

スクリーン	(型名SCR-A50P)	LVP-XD200用ランプ(光源ランプ)	(型名VLT-XD200LP)
	(型名SCR-A60P)	天吊り金具	(型名BR-XD200)
	(型名SCR-A80P)	高天井用ポール	(型名BR-XD200P)

端子について

■ パソコン入出力端子(ミニD-SUB 15P)のピン配列
ミニD-SUB 15Pを使用してパソコンのアナログRGB映像信号を入力します。ミニD-SUB 15Pのピン配列は以下のようになっています。

PIN NO.	仕様	PIN NO.	仕様
1	R(RED)/Cr	9	-
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Cb	11	GND
4	GND	12	DDC-DATA *1
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC-CLK *1
8	GND		

*1) COMPUTER 1 IN端子のみ。

■ MOUSE/RS-232C端子(ミニDIN 9P)

本機をパソコンからコントロールするときやマウスリモコンを使ってパソコンをコントロールするときに使います。接続にはRS-232Cケーブル(D-SUB 9P - ミニDIN 9P)をお使いください。くわしくは、テクニカルサポートセンターにご相談ください。

PIN NO.	名称	I/O
1	RXD	入力
2	USB-	出力
3	USB Vcc	入力
4	GND	-
5	PS2 Vcc	入力
6	PS2 CLK	出力
7	TXD	出力
8	PS2 DATA	出力
9	USB +	出力

その他

索引

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H x V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示 (H x V)	リアル表示 (水平 x 垂直)
TV60	-	15.73	59.94	1024 x 768	-
TV50	-	15.63	50.00	1024 x 768	-
525p	-	31.47	59.94	1024 x 768	-
1080i	-	33.75	60.00	1024 x 576	-
720p	-	45.00	60.00	1024 x 576	-
PC98	640 x 400	24.82	56.42	1024 x 640	640 x 400
CGA70	640 x 400	31.47	70.09	1024 x 640	640 x 400
CGA84	640 x 400	37.86	84.14	1024 x 640	640 x 400
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	640 x 400
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	640 x 480
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	640 x 480
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	640 x 480
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	640 x 480
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	800 x 600
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	800 x 600
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	800 x 600
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	800 x 600
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	800 x 600
XGA43i	1024 x 768	35.52	86.96	1024 x 768	1024 x 768
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	1024 x 768
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	1024 x 768
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	1024 x 768
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	1024 x 768
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA85a	1152 x 864	77.49	85.06	1024 x 768	1024 x 768
SXGA60b	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA75b	1280 x 960	75.00	75.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA43i	1280 x 1024	46.43	86.87	1024 x 768	1024 x 768
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	1024 x 768	1024 x 768
SXGA75	1280 x 1024	79.98	75.03	1024 x 768	1024 x 768
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	640 x 480
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	832 x 624
MAC19	1024 x 768	60.24	75.02	1024 x 768	1024 x 768
MAC21	1152 x 870	68.59	74.96	1024 x 768	1024 x 768
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	1024 x 768
HP72	1280 x 1024	78.13	72.00	1024 x 768	1024 x 768
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	1024 x 768	1024 x 768
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.63	1024 x 768	1024 x 768
SUN66	1280 x 1024	71.68	66.68	1024 x 768	1024 x 768
SUN76	1280 x 1024	81.13	76.11	1024 x 768	1024 x 768
SGI72	1280 x 1024	76.92	72.30	1024 x 768	1024 x 768
SGI76	1280 x 1024	82.00	76.00	1024 x 768	1024 x 768
IBM60	1280 x 1024	63.42	60.00	1024 x 768	1024 x 768

本機の最大解像度は1024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。

SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。)

SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。

表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。1080iはハイビジョン信号を表します。

ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。

信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が「RGB」に設定されているときに525p信号が入力されると、VGA60で表示されます。そのときは、COMPUTER入力の設定を「YCbCr/YpBPr」にしてください。自動的に525pの設定に変更されます。

TV60、TV50信号は、色差信号のみ対応しています。5線式RGB信号は正常に表示できません。

規格外の信号を入力したとき、正しくはたらかないことがあります。

リアル表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示(リアル表示)することにより、見やすくなる場合があります。リアル表示にするためには、あらかじめ、オプションメニューの拡大モードの設定をリアルにしておく必要があります。(設定のしかたについては、16ページ参照。)

リモコンのEXPANDボタンを押すと、リアル表示になります。もういちどEXPANDボタンを押すと、通常画面にもどります。

リアル表示中は拡大率の変更および拡大させる範囲の変更はできません。

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です
但し、ランプは3ヶ月以内で200時間まで

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、データプロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったときは」の順にしたがって、お調べください。

なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

ご連絡いただきたい内容

- 品名 三菱データプロジェクター
- 形名 LVP-XD200
- お買上げ日 年 月 日
- 故障の状況 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (付近の目印なども)
- お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは
全国どこからでもおかけいただける

三菱電機テクニカルサポートセンター

 **0120-32-7440**

通話料金無料

Tel:075-325-4488

(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)

受付時間/AM9:00 ~ PM9:00
(弊社指定祝日除く)

FAX 075-325-4195

E-mail pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサーバでもご提供しています。

<http://www.melco.co.jp/service/projector/>

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、お問合わせは

三菱電機お客さま相談センター 365日
24時間

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル

 **0120-139-365** (通話料金無料)
いつもサンキュー 365日

通常電話番号(携帯電話対応) **03-3414-9655**

FAX **03-3413-4049**

所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

その他

保証とアフターサービスの種類

ご購入店などをメモしておきますとあとで役に立ちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このデータプロジェクターの形名はLVP-XD200です。

愛情点検

長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

電源ケーブル、電源プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源スイッチを入れても映像がでない。
映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

 **三菱電機株式会社**

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地